

1 冊子について

これまで、地域への愛着と世代間交流を深るため、社会教育委員が文献等を調査し、自治会・神社等の協力を得て町内に関するさまざまな分野の冊子を作成してきた。

平成28年度には「**広陵町の民話**」・「**ふるさとの言葉**」、そして、平成30年度には「**広陵町の祭り**」を発行した。

冊子は図書館を始めとした町内公共施設及び小中学校等へ配付し、町内を知るための情報材料として役立てていただいているものである。

この度、社会教育委員が交代した事を契機に、新刊の作成について検討する。

2 規格

サイズ：横A5版（48ページ以内）

色：フルカラー印刷

製本方法：無線とじ製本 ※前作と同様の規格

予算：759円×400冊=303,600円（予定）

3 内容（案）

町内各地域の代表的な場所や季節の移ろい等のさまざまな風景や解説を冊子にまとめ、広陵町を知り、訪れるための機会を提供できるものとする。

町内公共施設や学校、地区公民館等に配付し、広く見てもらえる内容とする。

（一例）

- ・町内各地の春夏秋冬の風景写真と地図
- ・桜や牡丹、梅等の花の風景と地図
- ・歴史のある町並み（北部・西部・東部地域）、新しい町並み（真美ヶ丘ニュータウン地域）
- ・町内古墳や寺社等、文化財の写真
- ・昔の写真（昭和～平成初期頃の写真）と現在の写真の比較

※文化協会「写真部」から風景等の写真を提供いただいております。内容に沿った写真を使用する。不足分は、委員等が分担して撮影を行う他、地域からも写真を募集する。

4 作成スケジュールイメージ

工程 \ 期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
立案・内容決定	▶											完成・納品
撮影	▶											
編集				▶								
校正										▶		

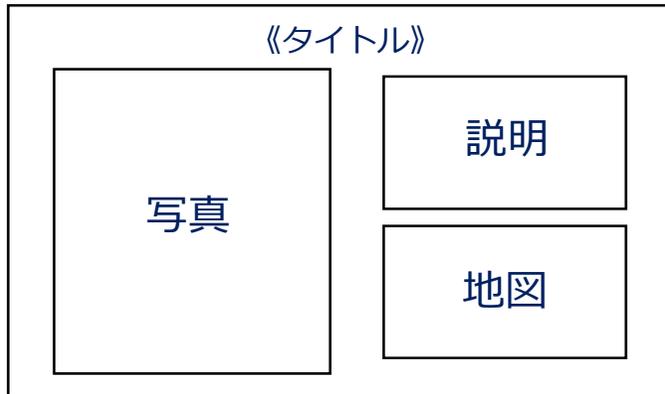
事務局は、各工程の補助及び校正確認を行う。季節毎の撮影を行う可能性があるため、完成は年度末を目指す。

5 冊子デザイン (案)

【前作】



【内容イメージ】



【例】 (1ページに対して1箇所を紹介)

《百済野夕景》

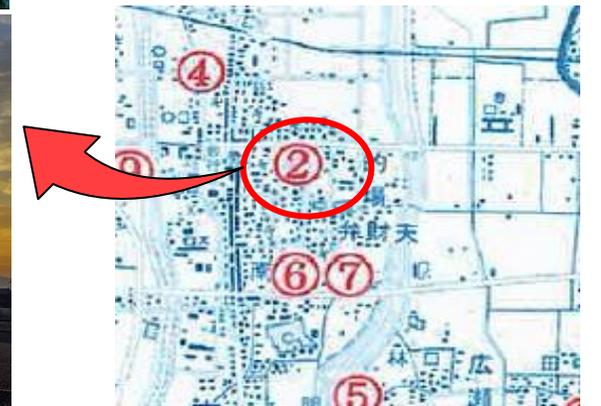


くだらの はぎ ふるえ はるま
 「百済野の 萩の古枝に 春待つと
 を うぐいすな
 居りし鶯 鳴きにけむかも」

万葉集において山部赤人が詠んだ歌があります。

この「百済野」は、一説にはここ百済の辺りだと言われています。

千年以上の時を経て、あの頃と同じ景色が見えるかもしれません。



簡易的な地図↑